

平成15年8月5日

各 位

会 社 名 株式会社 京 葉 銀 行
代 表 者 名 取締役頭取 綿貫 弘一
(コード番号: 8544 東証第一部)
問 合 せ 先
責 任 者 役 職 名 常務取締役総合企画部長
氏 名 小島 信夫
電 話 番 号 043-222-2121 (代表)

平成16年3月期 第1四半期情報の開示について

当行の平成16年3月期第1四半期(平成15年4月1日から平成15年6月30日)における四半期情報について、お知らせします。

以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。なお、単位未満については切り捨てて表示しております。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体) (単位: 億円) (参考) (単位: 億円)

	平成15年6月末	平成14年12月末	平成15年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	464	453	499
危険債権	586	777	666
要管理債権	375	501	386

(注)上記の各四半期の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

債務者区分との関係: 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

(実質破綻先・破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権

(要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

なお、上記債権は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

2. 自己資本比率（国内基準）

（参考）

	平成15年9月末(予想値)	平成15年3月末(実績)
連結自己資本比率	8.9%程度	8.93%
連結Tier1比率	7.9%程度	7.94%

(注) 1. 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

2. 当行は拠点を国内に限っておりますので国内基準を採用しており、基本的項目のみで国内基準の4%を大きくクリアする見込みであります。また、当行では、公的資金や負債性資本等については、一切取り入れをしております。

3. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

評価差額

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

	平成15年6月末				平成14年12月末				平成15年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	4,278	15	142	127	3,672	0	147	147	3,606	2	153	151
株式	368	88	20	109	321	119	19	139	321	125	14	140
債券	3,853	106	121	15	3,293	122	127	4	3,227	130	139	8
その他	57	2	-	2	57	2	-	2	56	3	-	3

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前。第3四半期は中間期末の償却原価法適用前、減損処理前。）と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

	平成15年6月末				平成14年12月末				平成15年3月末			
	帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的 の債券	125	3	3	-	124	1	1	-	123	2	2	-
子会社・関連 会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. デリバティブ取引（単体）

(1) 金利関連取引

該当のものはございません。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

区分	種類	平成15年6月末			平成14年12月末			平成15年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	為替予約	2	0	0	-	-	-	-	-	-
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注3. の取引は、上記記載から除いております。

2. 従来、引き直し対象の先物為替予約、通貨オプション等は、当四半期からは上記に含めて記載しております。

3. 期間損益計算を行っている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

なお、従来、期間損益計算を行っていた通貨スワップ取引は、当四半期からはヘッジ会計を適用しておりますので、下記の記載から除いております。

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

種類	平成14年12月末			平成15年3月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
通貨スワップ	32	0	0	29	0	0

また、先物為替予約、通貨オプション等のうち、引き直しを行っている通貨関連デリバティブ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

区分	種類	平成14年12月末	平成15年3月末
		契約額等	契約額等
取引所	通貨先物	-	-
店頭	為替予約	4	2
	通貨オプション	-	-

(3) 株式関連取引、債券関連取引、商品関連取引、クレジットデリバティブ取引

該当のものはございません。

5. 預金・貸出金の残高(単体)

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	平成15年6月末	平成14年12月末	平成15年3月末
預金(未残)	25,835	25,056	24,773
貸出金(未残)	19,027	19,656	19,042

(注) 1. 預金については、譲渡性預金を含んでおりません。

2. 各四半期末の貸出金については、部分直接償却を実施した場合の計数であります。

【預金】

平成15年6月末の預金実績につきましては、個人預金を中心に対平成15年3月比1,061億円の増加となり、引続き順調に推移しております。また、6月1日から7月31日まで実施致しましたアルファバンクの「夏のWプレゼント」は、7万口以上のお申し込みがあり、大変ご好評をいただきました。

当行はこれからも、お客様のニーズに合った新商品、質の高いサービスをお届けできるよう努めて参ります。

【貸出金】

平成15年6月末の貸出金実績は、デフレ経済の長期化により新たな資金需要が減退する中、中小企業向け融資に積極的に対応した結果、平成15年3月比15億円の減少に止まりました。また、中小企業向け商品として5月に発売した「BANKビジネスローン」は2ヵ月間で450先、75億円の実行と順調に推移しております。消費者ローンについても、住宅ローンが平成15年3月比84億円、無担保ローンが13億円の増加を図ることができました。

今後もより一層良質な資産構造の確立を目指し、中小企業向け融資及び住宅ローンを中心としたコア融資の拡大を積極的に推進し、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指して努力して参ります。

以 上

本件に関する照会先 株式会社 京葉銀行 総合企画部 石原・青野 043-222-2121
--